

14.試験工事（地盤改良工事排泥 S J 工法）

対象原泥	発生種別	地盤改良工事排泥	連続地中壁工事排泥	泥土圧シールド排泥	浚渫工事土砂
	発生土区分	建設汚泥	浚渫土		
泥土性状	泥土種別	自硬性	非自硬性		
	含水比 (%)	原泥 150~170% → 貯泥・調泥後 100~130%			
	土質区分	粘性土	砂質シルト	砂質土	
	有機質	含有なし	強熱減量5%未満	強熱減量5~15%未満	強熱減量15%以上
利用区分	利用用途	盛土	埋戻し	道路路体(路床)	植生土壌
	利用形態	自ら利用	個別指定	有償売却	試験工事
要求品質	品質区分	第1種処理土	第2種処理土	第3種処理土	第4種処理土
	pH	特になし	中性		
	強度発現	1日	3日	7日	28日
	再泥化	制限あり	制限なし		
処理方法	施工方法	安定処理	スラリー化安定処理	脱水処理	
	工法名	イーキューブシステム	TAST工法		
使用固化材	高分子凝集剤	S-1T			
	同上使用量 (kg)	20kg			
	固化材	アッシュスター	エコハード	ハーデン	有機質対応型
	同上使用量 (kg)	120kg			
リサイクル量	日平均施工量(m ³)	100m ³			
	総量 (m ³)	400m ³	処理機構成	25m ³ 機×1台	

【概要説明】

地盤改良工事の排泥を処理し、同工事内の路体材料として利用できるか試験工事として実施した。その成果が評価され、本体工事の標準設計として採用された。



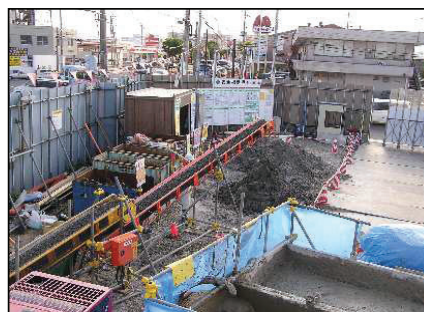
地盤改良工事施工状況



貯泥状況



泥土処理状況



バルコン搬出状況